



Handsome

Handsome CONTENTS

June 2016

NETSU
LINK TO THE FUTURE

2016.6 No. 329

巻頭記事 5月例会開催

5月例会を終えて
ビジネス経営委員会 委員長 松井 淳一

次年度監事決定
次年度県出向理事・監事候補決定

平成27年度OB交流会開催

野球部&サッカー部合同親睦交流試合

特集 第36回全日本トリアスロン
皆生大会への意気込み

最終回
卒会者からの教え

監事 渡辺一徳
専務理事 長谷川洋司

連載
仕事への熱を語る 西田 裕志
会員当てクイズ この人はだれだ!?

発行人/鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 松田 幸紀

編集責任者/担当 副会長 廣谷 栄一 制作・編集 41期広報委員会/委員長 樺田 和志 印刷所/東京印刷(株)

5月例会開催

平成28年5月16日(月)ホテルサンルート米子にてビジネス経営委員会担当の5月例会が開催された。



冒頭で松田会長より「日本の株式会社創業して30年後に続いている会社は0.025%しか残らないと言われていいます。今日の勉強会はとても参考になりますので、最後まで集中して学びたい」と挨拶された。

続いて新入会員バッジ授与があり、金山会員は「何事にもチャレンジして頑張りたい」。浜浦会員は「一生懸命頑張ります」とそれぞれ抱負を述べられた。

続いての臨時総会では、竹ノ内次年度会長より上程された次年度監事3名、次年度県出向役員候補4名についてそれぞれ「異議なし」の声にて満場一致で承認された。その後の委員長タイムでは、総務委員会の奥森委員長より中央会に入会してできた

夢についてのお話があり、大阪出身の奥森委員長はだんじりを境港市、米子市で走らせ子供たちに何か感じて欲しい、地域活性につながって欲しいと熱く語られた。その後のトリアスロンタイムでは、荒川実行委員長より基本方針の発表があった。第一に「未来に繋ぐ」第二に「ALL中央会の実現」。そして各部長よりそれぞれ成功に向けて頑張りたいと挨拶があった。

本例会ではビジネス経営委員会より、前回11月例会の続編として寸劇を通じて企業再生と地域再生の基本的な知識を身に付ける事を目的とした勉強会が行われた。第一部では自力再生、第二部では他力再生、第三部では地域再生をテーマに行われた。第一部のまとめとして倒産危機の最優先課題は短期的なキャッシュ確保が重要、そして有利子負債を減らすこと。B/S改善や資産売却が有効、価格政策による利益の向上、戦略調達による経費削減、人員の配置転換や削減、等が必要になるとされた。



第二部のまとめとしては、私的整理と公的整理があり、発生する貸倒引当に耐えうる体力がある金融機関でないとい負債カットはできない。まずは私的整理を検討し、債権者全員の合意、株式の100%減資、代表取締役の交代が必須。公的整理は中小企業向けの民事再生と大企業向けの会社更生があり、民事再生では出席債権者の過半数と債権総額の過半数の同意が必須。第三部のまとめとして、地元企業全体での共生・街づくりの意識が必要。効果がでてくれば、徐々に追随する企業も現れると締めくくられた。



最後に千石副会長より「我々経営者並びに経営幹部は自分の生活だけではなく、社員とその家族の生活を背負っている事を忘れてはなりません。もし会社の経営が行き詰まりそうになった時は、本日の例会を思い出し、頭の片隅にでも置いていただければ幸いです」との言葉でまとめられ、本例会は閉会となった。(記事:仲佐)

5月例会を終えて

ビジネス経営委員会 委員長 松井 淳一



ビジネス経営委員会の松井です。5月例会では、企業再生に関する事例を寸劇を通じて紹介致しました。

第1部では自力再生(自力で緊急止血)、第2部では他力再生(民事再生による債務減免)、第3部では地域再生(地元企業との共生)という寸劇3部作の構成で実施しました。昨今、自分達の会社や取引している会社がいつどうなるのか分からない状況の中、膨大な負債や資金ショートで資金繰りが黄色信号や赤信号になった時にどう対処すればいいのか?あるいは倒産寸前の会社に打つ手はあるのか?ということを経験として取り上げました。当日は寸劇だけでなく、ロケ撮影の映像を半分ほど流しました。リハーサルや準備にはかなりの時間を費やしましたが、本番ではなんとかまとまった形になり、ホッと一安心しております。今期ビジネス経営委員会の発足当初に設定した「ビジネスアスリートになるんだ!!」という目標に対して、ぐっと近づけるような成果を残せたのではないかと考えております。

最後まで諦めずに、例会のクオリティを上げる努力をして頂いた委員会メンバー全員に感謝を申し上げたいと思います。本当に有り難うございました!

次年度監事、次年度県出向理事・監事候補が決定!

【監事】



千石正信 会員
(21年11月入会)

三輪龍介 会員
(22年7月入会)

山崎慎也 会員
(24年12月入会)

【県出向理事候補】

【県出向監事候補】



足立 駿 会員
(24年1月入会)

松井淳一 会員
(25年1月入会)

安達孝宏 会員
(27年7月入会)

山口尚文 会員
(24年2月入会)

第36回 全日本トライアスロン皆生大会開催に向けて

実行委員長・各部長の意気込み

実行委員長 荒川秀光

今年も、われら西部青年中央会の熱い夏が始まろうとしています。去年を思い出して下さい。トライアスロン当日から一気に熱くなりました。今年も熱くなります。みなさんお1人お1人の汗、声援、努力が、西部青年中央会の財産でもあり、全日本トライアスロン皆生大会の一翼を担うものであることは言うまでもありません。

今年の大会は、個人の部で定員枠940名に対し1810名の申し込みがありました。去年の申し込みは約1700名、一昨年は約1600名です。このように、全国の鉄人たちが押し寄せ、レースのレベルが上がってくるなかで、西部青年中央会に寄せられる期待は大きく、これもひとえに皆様のご尽力・ご支援にかかっております。私も、これまでの諸先輩方の実績を引き継ぎ、次世代へうまくバトンタッチができるように頑張ってお参りますので、中央会の在籍あとわずかでございますが、そこは構わずに叱咤と激励をお願い致します。

それでは、皆様、体調管理にはお気をつけて、大会当日までよろしくお願ひします!



AS部長 村田 博

今年もまた『熱い』夏がやってくる!第36回全日本トライアスロン皆生大会だ!!

改めまして、こんにちは!この度、AS部長を拝命致しました村田です。開催当日は県内外から多数の選手が参加されます。参加選手の方々に満足して頂けるよう、全力でサポートして参りたいと思います。鉄人たちのレースに一喜一憂し、感動を胸に鉄人たちとトライアスロン皆生大会を盛り上げたいと思います。

当会の継続事業ですので、この事業がこれから先の『未来へ繋ぐ』ことが出来るよう、各部と連携を深めまして、ALL中央会で取り組みたいと思います。大会が無事にフィナーレを迎えるまで、皆様、力を合わせて頑張りましょう!

マラソン部長 高塚 康治

熱い夏が今年もやってきます。第36回全日本トライアスロン皆生大会のマラソン部長を拝命いたしました高塚です。昨年大会では不慮の事故があり、本大会はより選手の安全面を配慮した大会になります。そこでマラソン部の果たす役割は大きく、日に日に責任を感じている次第でございます。マラソン部の事業は、会員皆様のお力添えがあってはじめて成立する事業ばかりです。本大会もご協力よろしくお願ひいたします。マラソン部は伝統であります「やるときにはやる。楽しむときにはとことん楽しむ」をテーマに、メリハリのあつ活動をしてまいります。ポラ部、AS部とも仲良く連携し、ALL中央会で暑い大会を熱く活動していきましょう!

ボランティア部長 角田 昭生

この度、ボランティア部長をさせていただきます角田です。当然ながら責任をもってやっていく意気込みですが、目の前の、やらなければならないことをやっていくだけでも困惑しているところもあります。しかし、ボランティア部は現役の中央会のメンバーの他にOB、それ以外の一般の方にまで協力をいただいております。だからこそ、自分の思いを解りやすく誤解のないように伝えていく事を念頭に置いております。

誰もが時間のない中の活動ですので、より効率的に作業ができるように考えていきます。

事前準備、当日ともに大変ではありますが皆様に気持ちよくボランティア活動をしていただき、大会当日には選手と共に感動を味わいたいと思います。皆様の御協力の程よろしくお願ひ致します。

平成27年度OB交流会開催

鳥取県西部中小企業青年中央会の現役の会員(62名)とOB会員(25名)の交流会が、5月13日(金)皆生温泉の料理旅館松涛園にて開催されました。



松田会長挨拶・土井OB会長の乾杯にてはじまりましたOB交流会ですが、今年は現役会員とOB会員が混合でA班からE班に分かれて親睦を深める形でした。

アトラクションは中央会テストで、どれだけ中央会のことかわかっているか挑戦しました。解答だけでなく、それにちなんだエピソードをOB会員の方から教えていただいたり、珍解答があったりと楽しく勉強ができました。2回戦は2種類の日本酒のどちらが高価なお酒かをあて

る利き酒の勝負でした。正解が土岐OB一人というミラクルが起き会場は大盛り上がりでした。3回戦はOB会員がお寿司のわさびの有無を引き当て、現役会員



がそれを全部食べたらず点が貰えるという激しい戦いで幕を閉じました。

次に足立委員長から大山お地蔵さまフェスティバルの報告をし、新入会員の元気な自己紹介と続きました。

そして松田会長より第42期竹ノ内次年度会長紹介があった後、次年度会長の意気込みをお話頂き、OB会員の方々から熱いエールが送られていました。

今まで以上に熱く深く親睦が深められた交流会となりました事、ご報告させていただきます。

(記事:森下)

西田 裕志会員 仕事への熱を語る

(山陰酸素工業株式会社)



私は米子市旗ヶ崎にある山陰酸素工業株式会社に勤務しております。

当社は1946年の会社設立当初の溶接・切断に使用する酸素の取扱いから始まり、現在では産業用・医療用ガス、LPガス・液化天然ガス(LNG)の販売、ガス関連器材・空調機器の販売、ガス供給設備設計・施工、住宅リフォームなど幅広い分野で展開しています。

その中で私が所属している設備工事部のメディカルチームは、

主に医療用ガス設備工事を専門として、ガスの特性、使用量、使用状況等様々な条件を考慮し、最適な供給設備の設計・施工を行い、施工後もお客様に快適で安全・安心してご利用して頂けるよう点検を実施しています。

院内での業務となり患者さんの命に直結するため、念密な作業計画書・要領書の作成、ひと作業ひと確認を実施し、担当者や作業員と常にコミュニケーションをしっかりと取るようにしています。当り前のことですが、組織で同じ目標に向かって仕事を取組むとき、報告・連絡・相談は必須です。ただ相手に伝えるだけでなく、伝わらないと意味がありません。伝える内容の目的、意味や意図を加えて説明し、相手の価値観や考え方を尊重し、協働出来るように心掛けています。

当社は今年創立70周年を迎えます。仕事に付加価値を付け、この地に豊かで輝く未来を創っていきます。

卒会者からの教え 中央会とは、自己研鑽の場である

渡辺一徳会員
(平成11年6月入会)



卒会がいよいよ間近になり改めて感じるのですが、青年中央会は素晴らしい会だと思います。とことん勉強することが出来る。人脈を築くことが出来る。自由闊達に議論をしながら、例会等を通じて自分がやりたいと思ったことが実現出来る、と無限の可能性を秘めていると実感します。色々出来ることがあります。綱領の最初に掲げられていますように、“自己の研鑽に努め、英知を養う”ことが一番大切だと感じます。現役会員の皆さん、何か中央会が物足りないと感じているのなら、すぐ行動に移してみてください。きっと何か見つかります。そして、行動から自分が変わっていくのが見えると思います。

卒会者からの教え 中央会とは「価値を創造」する場である

長谷川洋司会員
(平成18年6月入会)



中央会に入会してから9年間在籍させて頂き、過去を振り返ってみると中央会とは自身の価値観を創造する場ではなかったのかな?と感じます。会員一人一人の入会されるきっかけや活動に対する考え方も様々だと思いますがしかし、企業の代表、経営幹部と会社の代表として当会に在籍され、活動していく以上は何かを持ち帰っていくことが必要では無いですか?業種によっては当会の活動も意味があるもの無いものといろいろだとは思いますが、中央会の活動を通じて自分にとって何が得られるのかを考えて創造することが大切だと活動を通じて感じました。皆さんも中央会の価値について考えてみられてはいかがでしょうか。

野球部&サッカー一部合同親睦交流試合

平成28年5月14日(土)
八頭郡郡家球場・郡家体育館



今回のフットサル交流試合は東西部のサッカー部員と両地区の有志で混成チームをつくり、その4チームによる総当たり戦となった。

試合では、豪快なゴールや見事な連携

によるゴール、またGKのファインセーブや予期せぬオウンゴール等、いろいろなモノが飛び出す展開に、歓声や大爆笑が生じるなかなかの盛り上がりであった。最初は交代自由の7分ハーフでの試合を行っていたのだが、そこは我々世代の経済人、息切れする者・動けなくなる者も続出し、頻繁な選手交代が繰り返された。後半には大人の事情で5分ハーフになったりもしたが、各試合とも熱い戦いが繰り返された。そうして繰り返された熱戦の結果、優勝は我々が西部・長谷川専務理事(何と自らも2得点)率いるTEAMタイガーで、戦績は2勝1分であった。

試合後の懇親会では本日のMVPが発表された。MVPも今年度卒会の長谷川専務理事か?と思われたが、野球に引き続いて県事業になると圧倒的な存在感を發揮し、西部以外でも有名になりつつある西部・森下会員がきっちり持っていったのであった。東部・松岡審判長曰く、「ゴールキーパーとして20点は防いだ」という正に体を張ったミラクルSGKっぷりに、満場一致のMVPでした。

参加された皆様、お疲れ様でした。次回は、鳥取県西部中小企業青年中央会サッカー部としてお会いしましょう!! (記事:竹谷)



このイベントは中央会野球部の伝統でもあり、毎年開催されている親睦交流試合なのですが、内容は毎回真剣そのもの、ガチンコ対決で行われています。我々は昨年の雪辱を果たすべく、ベストメンバーで東部へと乗り込

みました。試合は東部先攻、西部後攻で始まり、西部松尾投手の奪三振ショー、東部三宅投手の打たせて取る投げ合いにより、3回終了時点で0対2の僅差で東部がリードするという引き締まった展開で進んで行きました。4回表も松尾投手の素晴らしいピッチングにより3人でピシヤリと締め、その裏、当日5安打大活躍の高塚選手などによる攻撃で同点とし、5回からは竹ノ内次年度会長がマウンドへと上がり、現役時代を彷彿とさせる剛腕を唸らせました。そして、5回裏にはランナーで出た内田選手が盗塁を決めチャンスを作ると、某選手による「パスボールを誘う豪快なスイング」で見事逆転とし、迎えた6回裏、満塁の場面で永井選手による走者一掃のタイムリースリーベースヒット、長谷川専務理事による「レフトライン際ギリギリ大ファール」などの活躍があり、終わってみれば9対2の大差で西部の勝利!見事昨年のリベンジを果たすことができました!

その夜、サッカー部合同で開催された大懇親会では各部表彰式が行われ、敢闘賞に東部の三宅会員、そしてMVPに我々西部から高塚会員が選ばれました。そして、懇親会でも東部、西部会員皆様が楽しそうに交流・親睦を深めている姿がとても印象的でした。最後に松田会長(監督)より「次年度以降もこの親睦交流試合を通じて東部、西部会員の皆様がより良い関係を築き、鳥取県中小企業青年中央会を盛り上げていきましょう」と言う言葉で締められました。今回、素晴らしい企画、演出を下さいました東部青年中央会の皆様、本当にお世話になりました。部員一同、お待ち申し上げます。(記事:今川)



Q&A 会員当てクイズ



この人はだれだ!?



学生時代の写真を探してびっくり!!そこには今の顔そのままの自分ばかり。

その当時から老けていたのかな?誰と分からないような写真を探していくと、幼少期、七五三での思い出の一枚が出てきました。懐かしく感じ、「写真はいいものだ」と改めて思いました。

答えはホームページをCheck!!

6月役員会報告

6月役員会が平成28年6月1日(水)米子市公会堂 集會室1にて開催されました。主な議題は以下の通りです。
・5月例会報告の件 ・6月例会開催の件
・総会、卒会式、懇親会開催の件 ・その他
なお、詳細については各委員長までご参照ください。

6月例会案内

と き:平成28年6月15日(水) 19:00~21:15
と ころ:米子コンベンションセンター
内 容:第41期 委員会報告
 第42期 年度方針発表
担 当:第41期 広報委員会

編集後記

次年度役員も選出され、今期と来期への思いが混ざり落ちつかない時期になりました。

編集会議中もついつい卒会旅行へ話がいつてしまいました。今期卒会される会員に喜んでもらえる旅行になりませうように。
(広報委員会 森下知紀)

新入会員

(広報委員会)



浜 浦 敬 昌

0型 課長
働さんれいフーズ
海外関連業務(紅ズワイガニ製品仕入/韓国)、販売
〒683-8506 米子市旗ヶ崎2147
TEL 33-6165 FAX 34-9051
(KT) 090-1687-9160
(EM): n-hamura@sanrei-foods.co.jp
S52.11生

〈コメント〉この度5月に入会させて頂きました働さんれいフーズの浜浦敬昌と申します。

右も左も解らない中ですが、一日も早く皆様の同志として見て頂ける様、精一杯やってみます。何卒よろしくお願致します。